

心理情報処理

《履修上の留意事項》授業中に統計解析ソフトを使用するため、初回からパソコン必携である。

《担当者名》○百々尚美・本谷亮・金山裕望・富家直明・上河邊力

【概要】

心理学で扱うデータは、誤差を多く含んでいることや同時に関連する多数の変数を測定していることが特徴である。このため、データへ高度な統計的処理を行い、結果を解釈する力が要求される。この講義では、JASPと呼ばれる統計解析用のソフトウェアを各自のパソコンにインストールし利用しながら心理学的なデータに対する統計的処理を習得する。

【学修目標】

心理学のデータを扱うための統計的な考え方について学ぶ。
あるデータに対してどのような分析を行い、結果をどのように解釈すべきかを学ぶ。
心理学で必要とされる統計的な分析について、JASPを用いて処理できるようにする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	JASPのインストールを行い、JASPの概要、簡単な操作を学ぶ。心理学におけるデータの性質、形式について学ぶ。	百々尚美
2	基礎統計量	JASPを用いてデータを処理し、平均、標準偏差、相関の意味を学習する。また、ソフトの基本操作（ファイルの保存、印刷）を学ぶ。	百々尚美
3	平均値の検定 1	心理学で多用される検定について、平均値の検定を通して、その考え方を学び、JASPによって計算し、結果を解析する。	百々尚美
4	平均値の検定 2	平均値について、信頼区間やサンプルサイズの影響について理解し、JASPで調べる。	百々尚美
5	回帰分析 1	線形回帰の考え方について学ぶ。また、単回帰分析の発想を理解し、JASPによるデータの分析を通して単回帰分析の進め方や活用方法を学ぶ。	本谷亮
6	回帰分析 2	重回帰分析の発想を理解し、JASPによるデータの分析を通して、重回帰分析の進め方や活用方法を学ぶ。	本谷亮
7	分散分析	平均値の検定として非常に良く用いられる分散分析について、その考え方およびソフトの操作の仕方を学ぶ。また、結果の解釈についてのポイントを知る。	百々尚美
8	分散分析その2	多元配置の分散分析について学ぶ。	百々尚美
9	多重比較	分散分析と合わせて行われる、多重比較についてその意味や解析の方法について学ぶ。	百々尚美
10	因子分析	心理学で分散分析とともに多用される因子分析（探索的因子分析）についてデータを通して学ぶ。因子分析の意味、および因子数の決定の仕方を詳しく行う。	金山裕望
11	項目分析	質問紙の各項目の適切性について、クロンバックの係数や相関係数、GP分析といった方法を知る。	金山裕望
12	検出力分析	サンプルサイズの決定に関する検出力分析を学ぶ。	富家直明
13	カイ2乗検定	カイ2乗検定についてデータを通して学ぶ。また、結果の解釈の仕方を学ぶ。	富家直明
14	心理学実験の試作（研究計画）	模擬事例から「問い」を見つけ、研究計画を立てる。計画に基づき、適切な分析方法を選択する。	上河邊力
15	心理学実験の試作（分析・報告）	模擬データをJASPで分析する。結果を解釈し、専門的な報告書を作成する。	上河邊力

【授業実施形態】

遠隔授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

講義ごとに与えたレポート課題をClassroomより提出してもらう。また、学期末にレポートを課す。これらによって評価する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

JASPで今すぐはじめる統計解析入門 清水優菜・山本 光（著） 講談社 2022年

【備考】

授業形態はオンデマンド型で講義を行う

講義の配信日および課題の締切についてはClassroomより通知する

【学修の準備】

毎回統計処理ソフトJASPを用いてデータの解析を行いレポートとして提出する（1～2時間）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3.心理学の基礎やそれらを応用発展させた心理科学と周辺諸科学に関する知識・技術を修得している。

DP1.心身の健康を保持し学修を継続できる基本的態度と知識・技能を身につけている。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

百々尚美（公認心理師）、本谷亮（公認心理師）、金山裕望（公認心理師）、富家直明（公認心理師）、上河邊力（公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。